



NO! OSPREY

横田基地にも **日本にも** オスプレイはいらない

11.21 東京大集会

日時

2021年11月21日 日

12:30 青年平和スピーチ

13:00 開会

会場

福生市・多摩川中央公園

レジャーシートなどをご持参の上、
座りながらご参加ください。

アクセス

JR青梅線「牛浜駅」より徒歩15分

プログラム(予定)

- 国会報告
- 野外シンポジウム
- アピール行進を予定



WEB配信 12:30
より開始

くわしくはホームページをご覧ください。

<https://www.noospreytokyo.org>



マスク着用など新型コロナウイルス感染症の対策をとったうえでご参加ください。

安全な空を
取りもどそう

危険なオスプレイはいりません

2018年、米空軍の特殊作戦機CV22オスプレイ5機が、横田基地（東京都福生市など5市1町）に正式配備されました。米軍は2024年頃までに10機態勢とするとし、2021年7月、6機目を追加配備しました。覆いかぶさるような爆音にさらされている住民も基地周辺の自治体も納得していません。

いま東京の空は過密です。羽田空港の増便を理由に23区上空で民間航空機が低空飛行しているなか、飛行ルートの重なる千葉県・木更津自衛隊基地にオスプレイが暫定配備がされています。横田基地へのオスプレイ配備・増強は衝突・事故の危険性をいっそう高めるものです。米軍は都心上空を航空法を無視した低空飛行を繰り返していることも明らかになっています。安全な空を取りもどすために、配備・増強を撤回させましょう。横田基地もなくしましょう。



オスプレイって何につかうの？

オスプレイは、戦争でまっさきに敵地に乗り込み、暗殺や拉致することを目的にした軍用機です。侵略、先制攻撃・特殊作戦に使われるオスプレイの配備は、米軍と自衛隊が一体となって、東京・首都圏から出撃することを意味します。

くりかえす緊急着陸 重大欠陥は未解決のまま

オスプレイはたびたび墜落・事故を起こしています。2015年12月の沖縄県名護市沿岸で墜落したことをはじめ、2021年6月に山形空港で、9月にも仙台空港でトラブルを理由に緊急着陸しています。実戦を想定した過酷な操縦を繰り返すことで、機体に異常・損傷が生じているからです。もともとオスプレイはエンジン・フィルターに重大欠陥がありますが、未解決のまま。日本で死亡事故などがいつ起こってもおかしくありません。

主催 **オスプレイ反対東京連絡会**

事務局
団体

安保破棄東京実行委員会・自由法曹団東京支部・
東京地方労働組合評議会・東京平和委員会

連絡先：東京都豊島区南大塚2丁目33-10東京労働会館5F TEL：03-5927-1486 FAX：03-5927-1487

ホームページ：<https://www.noospreytokyo.org> メール：info@noospreytokyo.org

■ 横田基地所属のオスプレイ 青森で爆音をまき散らす被害

漁業への深刻な影響。
米国でできない訓練は、日本でも許されない。

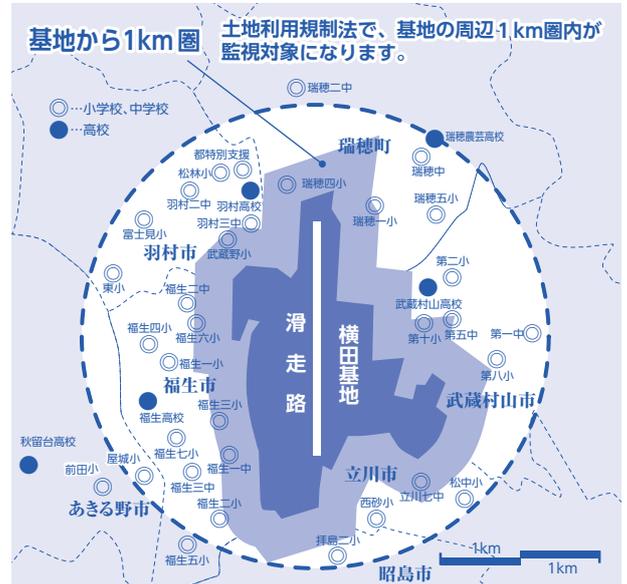
青森県三沢市などにまたがる小川原（おがわら）湖で、横田基地所属のオスプレイが湖面すれすれで救難訓練を繰り返し、地元住民・漁業関係者に被害を及ぼしています。

訓練は、オスプレイがホバリング（空中停止）しながら兵士をロープでつり上げるもので、爆音と水しぶきをあげるため、地元のワカサギ漁などへの影響は深刻です。穏やかな湖を午後5時すぎから2時間にわたり占有して、我が物顔で訓練するという異常な事態です。



■ 東京・横田基地のオスプレイ 基地周辺には学校37校

5市1町51万人の密集地で訓練
パラシュート降下は沖縄以上の規模・回数



人口密集地で訓練を繰り返す米軍。横田基地ではさらに無人偵察機グローバルホーク配備や新たな司令所・航空宇宙戦略センター設置の準備が進められています。すでに事故や被害は深刻。「基地もオスプレイもなくせ」が住民の強い願いです。

東京の空を米軍が支配

米軍機 都心低空飛行が続発

毎日新聞による報道で、横田基地と麻布米軍ヘリ基地（港区六本木）を結び都心上空で、米軍ヘリによる異常な低空飛行が日常化している実態が明らかになりました。新宿駅周辺のビルの間を縫うように、航空法に違反する高度200mほどで飛ぶなど、一歩間違えば大事故になる低空飛行を繰り返しています。

東京23区を含む首都圏上空には、米軍最優先の「横田空域」が勝手に設定され、日本の航空機はここを米軍の許可なしに飛べないことから、東京上空は過密になっています。このような都心低空飛行を繰り返すのはあまりに横暴です。

自由で安全な東京の空を取り戻すため、日米地位協定を見直して米軍に日本の法律を守らせることが、まず必要です。

